

平成30年度 五城目第一中学校学校経営方針

校訓 自主自立

1 学校教育目標

高い志を持ち、感性を豊かに働かせながら、人生を切り拓く生徒の育成

～ 問い返そう、それって72(何)? ～

2 学校経営の基本

- (1) 理想を実現しようとする高い志を持ち、主体的に学びに向かうことのできる生徒の育成
 - ① 学力の向上を目指した学習指導の充実と実践
 - ② 人との関わりから自分の考えを深め、他者に伝える表現力の育成
- (2) 地域社会や学校の特性を生かしながら、生徒と教師の心の触れ合いを大切にしたい、心豊かな人間性の育成
 - ① 人間尊重を基調とした生徒指導の充実
 - ② 思いやりを持った多様な人々との協働
- (3) 夢を持ち、感性を豊かに働かせながら自らの人生を切り拓いていくことができる生徒の育成
 - ① 個性や能力を育てる教育活動の創造
 - ② 試行錯誤からの新たな価値の創造

3 学校像

- (1) 楽しく活気に満ちた学校
- (2) 仲良く助けあう学校
- (3) 家庭・地域と歩む学校
- (4) 問い返しから理解を深めることのできる生徒

4 生徒像

- (1) 心と体を鍛え、心豊かで学びに向かう生徒
- (2) 郷土を愛し、地域社会と積極的に関わる生徒
- (3) 夢をもって自分の人生を切り拓く生徒

5 教師像

- (1) 成長したいと願う生徒の後押しができる教師
 - ① 生徒が何を喜びに感じ、何に悲しむ人なのかを「分かろう」とする教師
 - ② 真剣な表情で生徒の話を聴くことのできる教師
 - ③ 生徒との直接的なコミュニケーションだけでなく、生徒同士が互いの成長を支え合える集団をつくることを支える教師
- (2) 場の設定のできる教職員 【4つの「間」】
 - ① 生徒と語る機会を大切にする「時間」を大切にする教師
時間：生徒と語り合うことで幅広い考えを吸収し、感性を磨かせたい
 - ② 豊かな直接体験を大切にする「空間」を大切にする教師

空間：直接体験から生きる力に結びつけさせたい

③ 多様な人間関係を大切にする「仲間」を大切にする教師

仲間：多様な人間関係から生徒の良さに磨きをかけ、人と関わる術を身に付けさせたい

④ 継続して我慢する場面を積み上げていく「手間」を大切にする教師

手間：継続や我慢の場面を積み上げ、忍耐力をつけさせたい

(3) 実践的指導力を備える教職員

① 相互授業参観を通じた自己研修

- ・ 学習課題の提示

「何を学ぶか」(学びの出発)

- ・ 関わり合いと発表 = 主体的・対話的で深い学び

「どのように学ぶか」(学びの再思考)

- ・ 振り返りとつなぎ

「何ができるようになるのか」(学びの獲得と新たな学びの創出)

② 生徒による授業評価からの授業改善

- ・ 年2回の授業評価の実施

(4) 「教える」と「育てる」ができる教職員

- ・ 『教』各教科の知識や技能をしっかりと身に付けさせる教職員

- ・ 『育』学びに向かう、最善の策を練る、自分で決定する、耐える、尊重する、計画して行動する等の生徒を育成する教職員

- ・ 教えるところはしっかりと教え (TEACH)、そしてヒントを出しながらやる気にさせる (COACH) 教職員

(5) 使命感と連帯感が高く、地域から信頼される教職員

- ・ 「私ならこう考えます」「こうやりたい」と学校経営に参画できる教職員

- ・ 人間的な魅力のある教職員

6 経営の重点事項

(1) 全校体制による環境づくりの整備 《教師が一番の生きた環境》

① 充実感を味わえる住みよい、楽しい学校

② はつらつとした生活

③ 地域との一体感のある学校

(2) わかる授業の実践と学力の向上

① 授業づくり 【3つの「わ」】

- ・ わらいのある授業 (受容と共感)

- ・ わくわくする授業 (存在感)

- ・ わかる(できる)授業 (効力感)

- ・ 授業は生徒がつくるもの

② 学習状況の把握

- ・ 各種データの分析から具体的な授業の改善

③ 特別支援教育の充実

- ・ 生徒の困り感に対応した特別支援教育の推進

- ・ 自立と社会的参加を目指した特別支援教育の充実

④ 総合的な学習の時間の充実

- ・ 生徒の主体性を最大限に発揮させ、生徒の工夫が見える授業

⑤ 基礎基本の徹底

- ・ 教えるべきこと、習熟させるべきこと、定着させるべきことは徹底して行う授業
- ・ 高校入試を見据えた授業力を鍛える校内研修の充実と発展的な学習

(3) 表現力の向上

- ① 思いを伝える、思いを共有する指導の充実
授業で 学級で 行事で
- ② 文章を読み取り（読解・思考）、自分の言葉で表現できる生徒の育成
- ③ 自立（たくましさ、しなやかさ）につながる表現力の育成
 - ・ 社会性のない自立はない
 - ・ コミュニケーション活動の充実→双方向
 - ・ あいさつ、拍手、歌声の充実

(4) 生徒指導の充実

- ① 事前指導と未然防止
 - ・ 事前指導の充実による問題行動や不登校の未然防止
 - ・ 早期発見と迅速な初期対応
 - ・ 足で稼いでほめる指導
 - ・ 迷ったら動く生徒指導
- ② 成育歴を踏まえた生徒理解
 - ・ 生徒理解と大人としての関わり
 - ・ 自己決定の場の保障
 - ・ 誰が正しいかではなく、何が正しいか判断できる生徒の育成
- ③ 心の教育の充実
 - ・ 全ての機会をとらえた道德教育
 - ・ 全ての場で身に付けさせる道德教育
 - ・ 議論だけで終わらせることのない道德教育（最後は自分自身の問題として）

(5) 豊かな心の育成

- ① キャリア教育を支えるふるさと教育の推進
 - ・ 「学ぶこと」と「働くこと」「生きること」をつなぐ教育活動の推進→社会の一員としての自立心を育てる「職場体験活動」や「ボランティア活動」の実施
 - ・ ふるさとの良さを見つけ、ふるさとを愛し、ふるさとに生きる意欲を喚起
 - ・ 「持って生まれたものを深く探って強く引き出す人間」の育成
- ② 生徒会活動・学校行事・部活動の充実
 - ・ リーダーを育成する学級活動、生徒会活動の場づくり
 - ・ 生徒主体の活動重視
 - ・ 自己有用感をもたせ、好ましい人間関係を育む学校行事、部活動の推進
- ③ 諸活動の充実
 - ・ 朝の読書タイムの充実、学校図書の整備
- ④ 全校縦割り清掃の実施
 - ・ 学年の枠を超えて協力、豊かな愛校心の醸成、3年生のリーダーシップ
- ⑤ 学級間同士の競い合い
 - ・ 競い合いからの学級づくり（運動会 合唱コンクール 家庭学習時間 読書着席 ペロリンピック 発表回数 …等）

(6) 教職員の危機管理と職場環境づくり

- ① 危機意識に敏感な教師
 - ・ 信頼を得るために何を頑張り、何をしなければいけないのかを考えることの

できる教師

- ・ 「さしすせそ」(最悪を想定し 慎重に 素早く 誠実に 組織で対応) ので
きる教師
- ・ 危機管理は想像力で準備のできる教師

② 心身の健康の維持と管理に努める教師

- ・ 一人で悩みを抱え込まない職場づくり
- ・ 協同意欲を燃やせる職場づくり
- ・ 忙しくても心に余裕を持ち仕事にけじめをつけて帰宅できる教師
(目標：月残業 90 時間以下)
- ・ 新規「五城目第一中学校多忙化防止アクションプラン」による働き方改革の
確実な履行

共通実践事項

◎学習 主役は生徒

- (1) 学習課題の提示 【全学テ 63】 【県学状 4-3】
- (2) 対話と発表、そして問い返し 【全学テ 58 70】 【県学状 4-1 4-2】
- (3) 振り返りの時間の確保 【全学テ 64】 【県学状 4-4】

「生徒が…」何を学ぶか
「生徒が…」どのように学ぶか
「生徒が…」何ができるようになるか

◎生徒指導

- (1) 諸調査やアンケート実施後の関係生徒への対応 (共感)
- (2) 大人としての対応 (自己決定)

◎道徳

- (1) 道徳コーナーの設置と学習シート・関係資料の掲示
- (2) 問い返しと自分の考えを伝える場の設定 【全学テ 7】